

核燃料サイクル施設立地反対津軽地区連絡会議  
(通称)核燃・だまっちゃおられん津軽の会

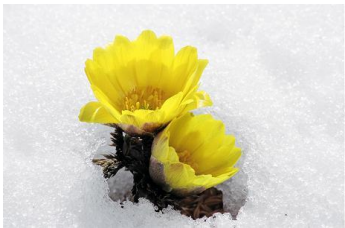
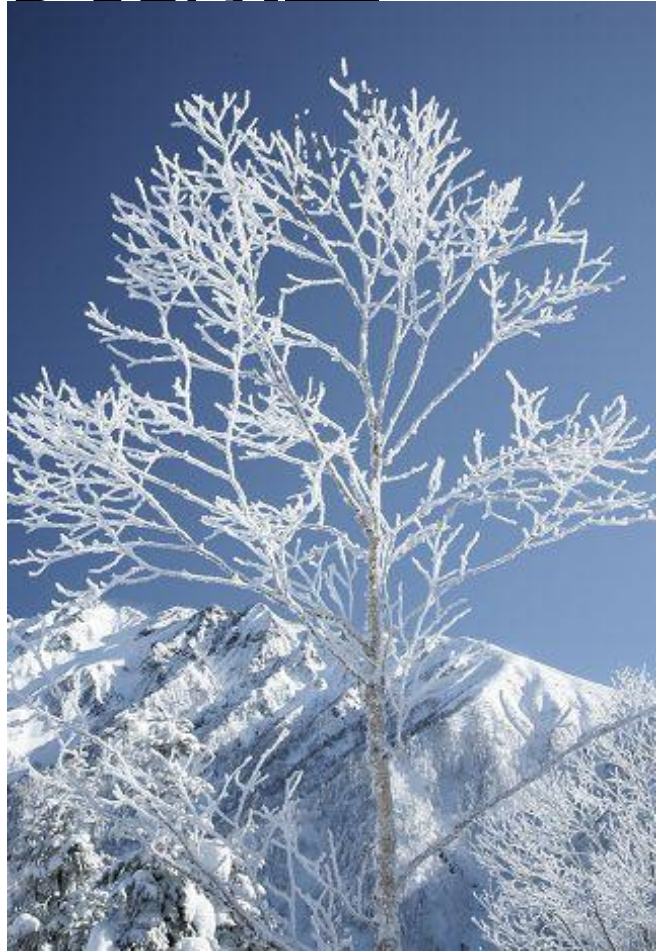
# 第7回 市民講座

下北半島には、六ヶ所再処理工場を始め、ウラン濃縮工場、東通原発、大間原発、高レベル放射性廃棄物中間貯蔵施設等々、原子力関連施設が集中しています。そして、下北半島の地面の下には、まるで「刺身の柵」のように、地層が入り組み、断層が走っていることを、ご存知ですか？

昨年の夏、東洋大の渡辺教授が、再処理工場の敷地内に活断層が存在する可能性がある、という学説を発表しました。青森県は「ない」と言い張り、原燃は「あることはあるが、問題なし」と言っています。

活断層は、本当にあるのでしょうか？もしあったとしたら、そこで地震が起こったら、どうなるのでしょうか？

講師にお迎えする松山先生は、下北の地質につ



テーマ「下北半島の原子力施設と周辺の地盤を考える」  
～ 活断層をめぐって ～

講師 元県立高校教諭・日本科学者会議・日本地質学会会員

とき：3月5日（木）午後6時～8時

ところ：津軽保健本部2階ホール

参加費無料

◇どなたでもお気軽にご参加ください

主催：核燃料サイクル施設立地反対津軽地区連絡会議

核燃・だまっちゃおられん津軽の会(通称)

連絡先：竹浪純 080-5229-6076

